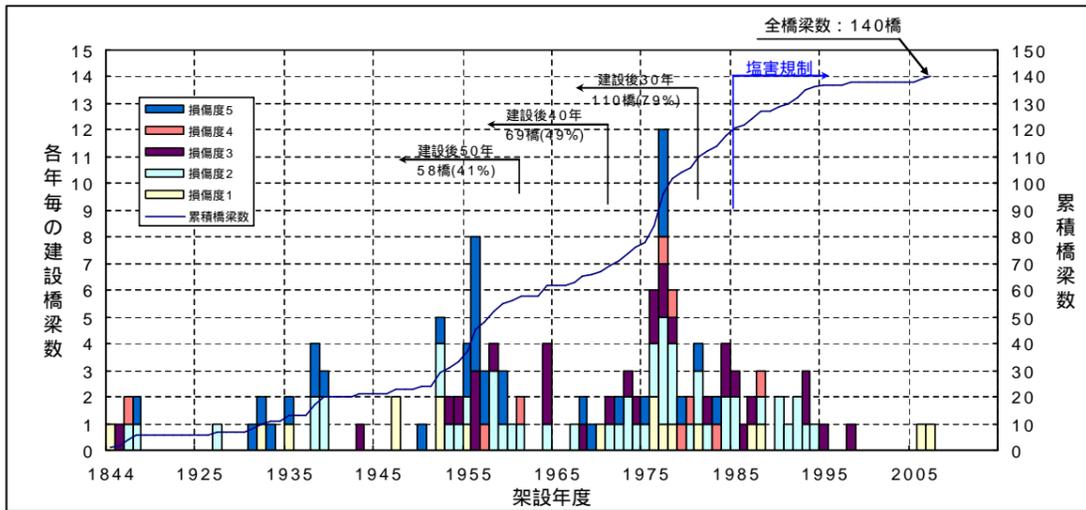
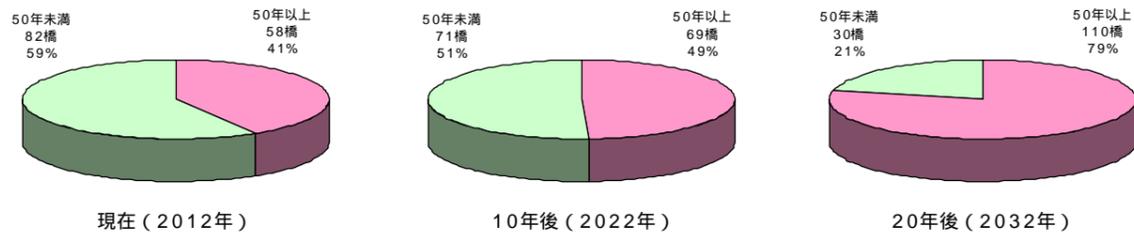


# 指宿市橋梁長寿命化修繕計画

## 1. 橋梁長寿命化修繕計画策定の背景と目的

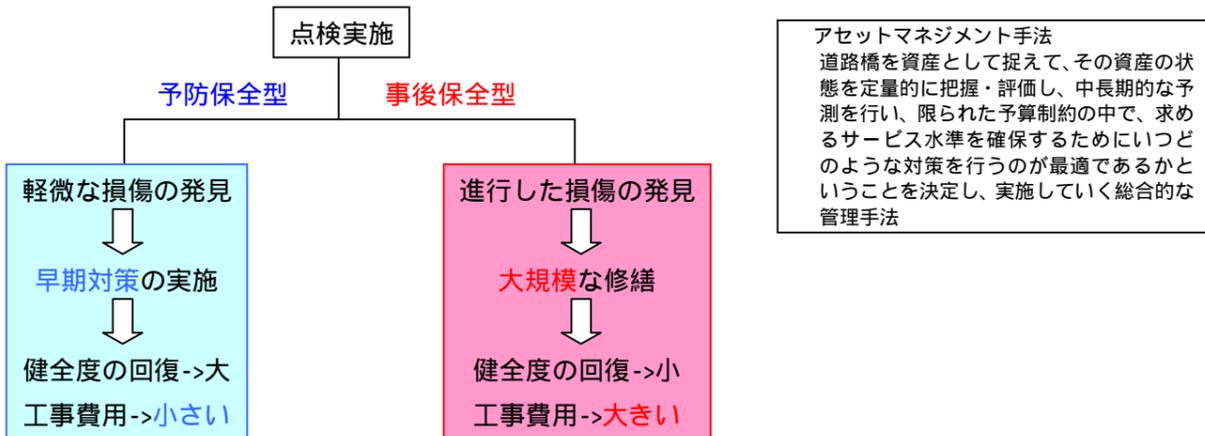
### 1) 背景

指宿市が管理する橋梁は平成23年現在で140橋あります。このうち建設後50年を経過する高齢化橋梁は平成23年度末時点で58橋あり、全体の41%を占めます。10年後にはこの割合が49%、20年後には79%となり、急速に橋梁の高齢化が進むことにより架替えや修繕等に要する費用が急増することが予想されます。



### 2) 目的

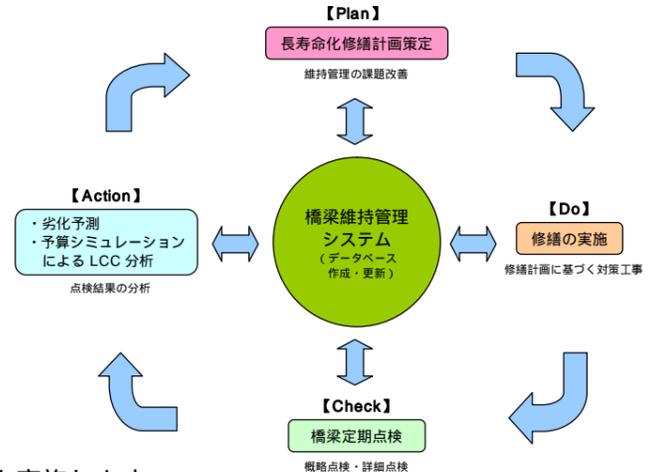
本計画では、これらの状況を踏まえ更新・補修費の増大及び限られた予算の中での効率的な予算執行に基づく合理的な維持管理の必要性から、アセットマネジメント手法の導入より従来の損傷が進行してから大規模な修繕を行なう事後保全的な一般型管理から予防保全的な長寿命化型管理へと転換し、既存の橋梁の健全度低下を防止することにより長寿命化を図る（長く使い続ける）ことで橋梁の安全性の確保を図り、コストの縮減へも繋げていきます。



## 2. 橋梁長寿命化修繕計画について

### 1) 概要

本計画では、全橋梁140橋を対象としており、今後50年間でコスト縮減を念頭に置いています。但し、コストや劣化状態予測の信頼性を確認するために、10年ごとに計画を見直すことにしています。橋梁定期点検を5年ごとに実施し、橋梁の状態把握・安全性を確認します。橋梁の重要度（路線が有している特徴・立地条件、第三者影響度）、橋梁の損傷度（損傷状況、環境条件）を考慮した優先順位により計画的な修繕を実施します。



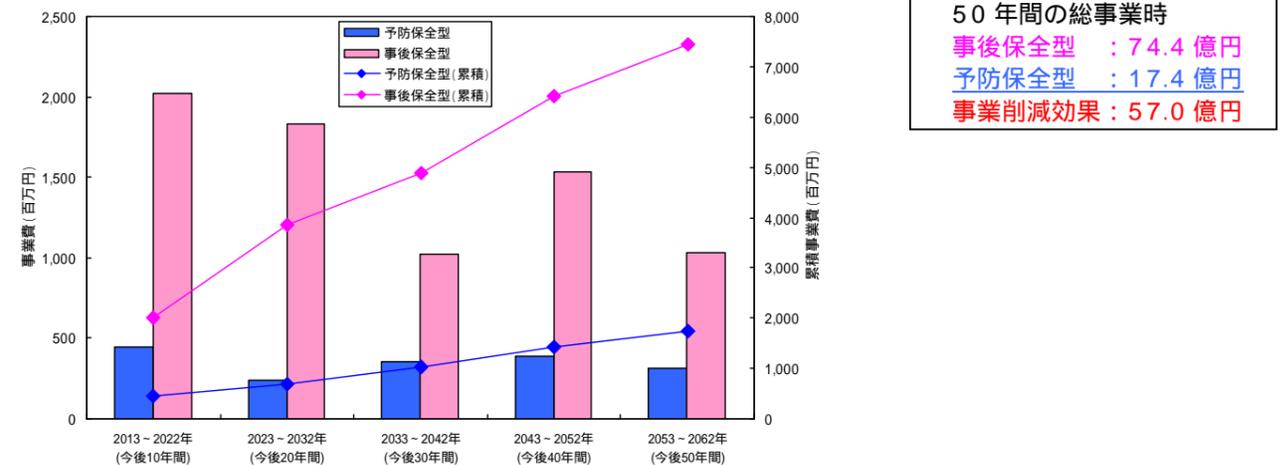
### 2) 計画実施方針

本計画においては、以下の基本方針に基づき今後の管理を実施します。

- 方針1：従来の管理手法である事後保全型から予防保全型の橋梁管理へ転換することにより、橋梁の長寿命化（100年以上供用する）を目指し、ライフサイクルコストの縮減を目指します。
- 方針2：予防保全型による維持管理を推進するために、人材の育成、橋梁に関する最新技術の取得に努めます。
- 方針3：現在損傷が大きい橋梁については早期機能回復を図るとともに、今後は橋梁の維持管理水準（健全度）により劣化が顕在化する前に計画的な修繕計画を実施し、道路交通の安全性確保・社会的損出を軽減します。
- 方針4：橋梁の維持管理を実施していく中で定期点検を確実に実施し、その結果を基礎データとして今後必要となる定期点検、修繕計画の時期を定め、計画的に維持管理計画を実施していきます。
- 方針5：今後の定期点検や修繕の実施状況、補修技術の進展、財政事情等を反映させながら、適宜計画の見直しを行ないます。

### 3) 計画の効果

今回の橋梁長寿命化修繕計画（50年間：2013～2062）でシミュレーションした結果によると、予防保全型（予算制約型）の今後50年間の概算事業費は従来の事後保全型管理と比べて、約60億円のコスト縮減効果があります。



## 3. 意見聴取した学識経験者及び計画策定部署

指宿市橋梁長寿命化修繕計画の策定においては、以下の学識経験者のご意見・ご助言を頂きました。

武若 耕司（鹿児島大学大学院教授）

山口 明伸（鹿児島大学大学院准教授）

計画策定担当部署 指宿市 建設部 土木課  
〒891-0497 鹿児島県 指宿市 十町 2424  
TEL 0993-22-2111